

《担当者名》○唐津ふさ[karatu23@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 神田直樹[kanda@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 野川道子(非)[mnogawa@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

慢性病の特徴や療養法の影響で多様に変化する慢性病患者・家族の生活状況や病への取り組みを適切な理論やモデルを活用してアセスメントし、慢性病患者・家族のセルフケア能力や生活の質を高めることができる支援について計画、検討する。

【学修目標】

1. 慢性病患者・家族を、生活者として捉え全体的に理解できる。
2. 慢性病患者・家族の状況に応じて、適切な理論やモデルを活用して身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントができる。
3. 慢性病患者や家族のセルフケア能力や生活の質を高めることができる支援について、事例を用いて計画、検討できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|-------------|---|---|-------|
| 1 | 慢性病患者が体験している様々な状況に対応できるアセスメントや支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・成人看護学特論1で学修した理論・モデルの概要 ・理論やモデルをアセスメントや支援に活用する意義と限界 ・身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントの必要性と意義 ・学習目標に向けての自己課題の明確化 | 唐津/神田 |
| 2 | 生涯にわたり自己管理が求められる慢性病患者に対するアセスメント | <ul style="list-style-type: none"> ・セルフケア不足理論に基づくアセスメント方法 ・生涯にわたり自己管理が求められる慢性病患者の事例を用いた包括的アセスメントの検討 | 唐津 |
| 3 | 生涯にわたり自己管理が求められる慢性病患者に対する支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・セルフケア不足を補い、セルフケア力を高めるための支援方法 ・生涯にわたり自己管理が求められる慢性病患者の事例を用いた支援方法の検討 | 唐津 |
| 4 | 療養法の実施に自信がもてない慢性病患者に対するアセスメント | <ul style="list-style-type: none"> ・自己効力感に基づくアセスメント方法 ・エンパワーメント理論に基づくアセスメント方法 ・療養法の実施に自信がもてない慢性病患者の事例を用いたアセスメントの検討 | 神田 |
| 5 | 療養法の実施に自信がもてない慢性病患者に対する支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己効力感に基づく支援方法 ・エンパワーメント理論に基づく支援方法 ・療養法の実施に自信がもてない慢性病患者の事例を用いた支援方法の検討 | 神田 |
| 6 | 慢性病の急性増悪で危機的状況におかれた慢性病患者に対するアセスメントと支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ストレス・コーピング理論に基づくアセスメントと支援 ・危機理論を用いた患者の理解とアセスメント | 神田 |
| 7 | 今後が見通せず苦悩している慢性病患者に対するアセスメント | <ul style="list-style-type: none"> ・病みの軌跡モデルに基づくアセスメント方法 ・今後が見通せず苦悩している慢性病患者の事例を用いたアセスメントの検討 | 唐津 |
| 8) 9 | 今後が見通せず苦悩している慢性病患者に対する支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・病みの軌跡モデルに基づく支援方法 ・今後が見通せず苦悩している慢性病患者の事例を用いた支援方法の検討 | 唐津 |
| 10 | 症状コントロールに苦慮する慢性病患者に対するアセスメント | <ul style="list-style-type: none"> ・症状マネジメントの統合的アプローチに基づくアセスメント方法 ・症状コントロールに苦慮している慢性病患者の事例を用いたアセスメントの検討 | 唐津 |
| 11 | 症状コントロールに苦慮する慢性病患者に対する支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・症状マネジメントの統合的アプローチに基づく支援方法 | 唐津 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---------------|---------------------------|--|------------------------------------|
| | | ・症状コントロールに苦慮している慢性病者の事例を用いた支援方法の検討 | |
| 12 | 病気の不確かさに揺れる慢性病者に対するアセスメント | ・病気の不確かさ理論に基づくアセスメント方法 ・病気の不確かさに揺れる慢性病者の事例を用いたアセスメントの検討 | 野川 |
| 13 | 病気の不確かさに揺れる慢性病者への支援 | ・病気の不確かさ理論に基づく支援方法 ・病気の不確かさに揺れる慢性病者の事例を用いた支援方法の検討 | 野川 |
| 14 { 15 | 専門看護師の実践にみるアセスメントと支援方法 | ・専門看護師の実践事例から、複雑な問題をもつ慢性病者の身体・心理社会面を含む包括的アセスメントと支援方法を検討 | 唐津/神田 長谷川智子（特別講師） 増田陽介（特別講師） |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション30%、準備・参加状況30%、課題レポート40%による評価

【教科書】

野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論，第2版，メヂカルフレンド社，2016．

【参考書】

やまだようこ編著：人生を物語る，ミネルヴァ書房，2000．

東めぐみ編：進化する慢性病看護 不確かさのなかにある病いのプロセスをともに歩む ，看護の科学社，2010．

【学修の準備】

事前に配付された課題に沿ってアセスメントを実施、支援方法についても検討した上で、授業に臨むこと。

【学習方法】

慢性病者の事例を題材にして、慢性病者のおかれた状況を説明しうる適切な理論やモデルを活用してアセスメントを深め、セルフケア能力や生活の質を高めることができる支援を計画する。事例検討と教員によるフィードバックを組み合わせながら内容を深めていく。